TOSHIBA

日本国内専用
Use only in Japan

東芝IHクッキングヒーター設置説明書

ビルトインタイプ（単相200V）

形　名 BHP-M631S/BHP-M632B
※BHP-M731SR/BHP-M631SR/BHP-M631BR
（※レンジフード連動機能付）

安全上のご注意

- 設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表　示	表示の意味
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が*1軽傷を負ったり*2物的損害の発生が想定される内容を示します。

*1 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが･やけど･感電などをさします。
*2 物的損害とは、家屋･家財および家畜･ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味	
禁　止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で指示します。	
指　示	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で指示します。	

- 設置完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
- この「設置説明書」は、取扱説明書とともにお客様に保管いただくように依頼してください。

警告

設置は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する
- ご自分で設置され不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

設置は、設置説明書に従い確実に行う
- 設置に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

設置は、機器の重量に十分耐える所に確実に行う
- 耐重量不足や取り付けが不完全な場合、機器の落下や転倒によりけがの原因になります。

電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」、及び設置説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。また、電圧は製品の定格電圧に合わせる
- 電源回路内容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

電源は200V-30Aの専用回路と漏電しゃ断器を設置する
また、電源プラグ（250V−30A）に合った専用コンセントを単独で使用する
- 電源回路内容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令･規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う
- アースが不完全な場合には、感電の原因になることがあります。

設置部品は、必ず付属品または、指定の部品を使用する
- 異なった部品を使用すると、機器の落下や転倒、水漏れ、感電、火災の原因になります。

絶対に分解･修理･改造は行わない
- 火災、けが、感電の原因になります。

注意

トッププレートに衝撃を加えない

●ひびが入ったり割れた場合、異常動作、感電の原因になります。
※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたり、トッププレートの端に物を当てたりしないでください。

試験運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部にふれない

●やけどの恐れがあります。

ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う

●熱硬化性樹脂高圧化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上のもの。
耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。
※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

設置される方へのお願い

- この器具を正しく安全にご使用いただくために、指定の方法で設置してください。
- 設置完了後に、試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。
- この説明書は、必ずお客様にお渡しください。
- 梱包箱の内フラップに記入された付属品が同梱されていることをご確認ください。
- ガス事業者に連絡しないで、ガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓など)を無断で撤去することは、法令により禁止されています。
事前に、ガス事業者へ連絡してください。
- 設置説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

1 電気工事および接地工事

■電源工事や接地工事は「**電気設備技術基準**」ならびに「**内線規程**」に準じてください。

■電源は30A専用回路(ブレーカ付)を設けてください。電源は必ず単相3線式200Vを使用してください。
3相電源の1相での使用はしないでください。故障の原因です。
万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をお願いいたします。

- 推奨漏電しゃ断器:定格電流30A、感度電流30㎃

■電源コンセント:埋込コンセント………単相3線式・2極・接地極付・250V・30A
(推奨形番　東芝ライテック DC2582E　松下電工 WF3630B)

- 電源コンセント取付位置は、次項の「**システムキッチンとの関係寸法図**」を参照してください。
- 電源コードの直付は絶対にしないでください。

コンセント差し込み形状

■アース工事を必ず行ってください。(D種接地工事)

- 上記コンセントの一極接地用に配線してください。

〈ご注意〉アースは、他の電気器具と共用したり、ガス管、水道管、電話線用のアース線への接続は危険ですので絶対お止めください。

電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方に行っていただきますようお願いします。

2 人造大理石ワークトップへ取り付けされる際のお願い

■人造大理石ワークトップは、加工状態や、高温条件によっては、クラック(ひび)の入ることがあります。右記の要領で加工し施工してください。

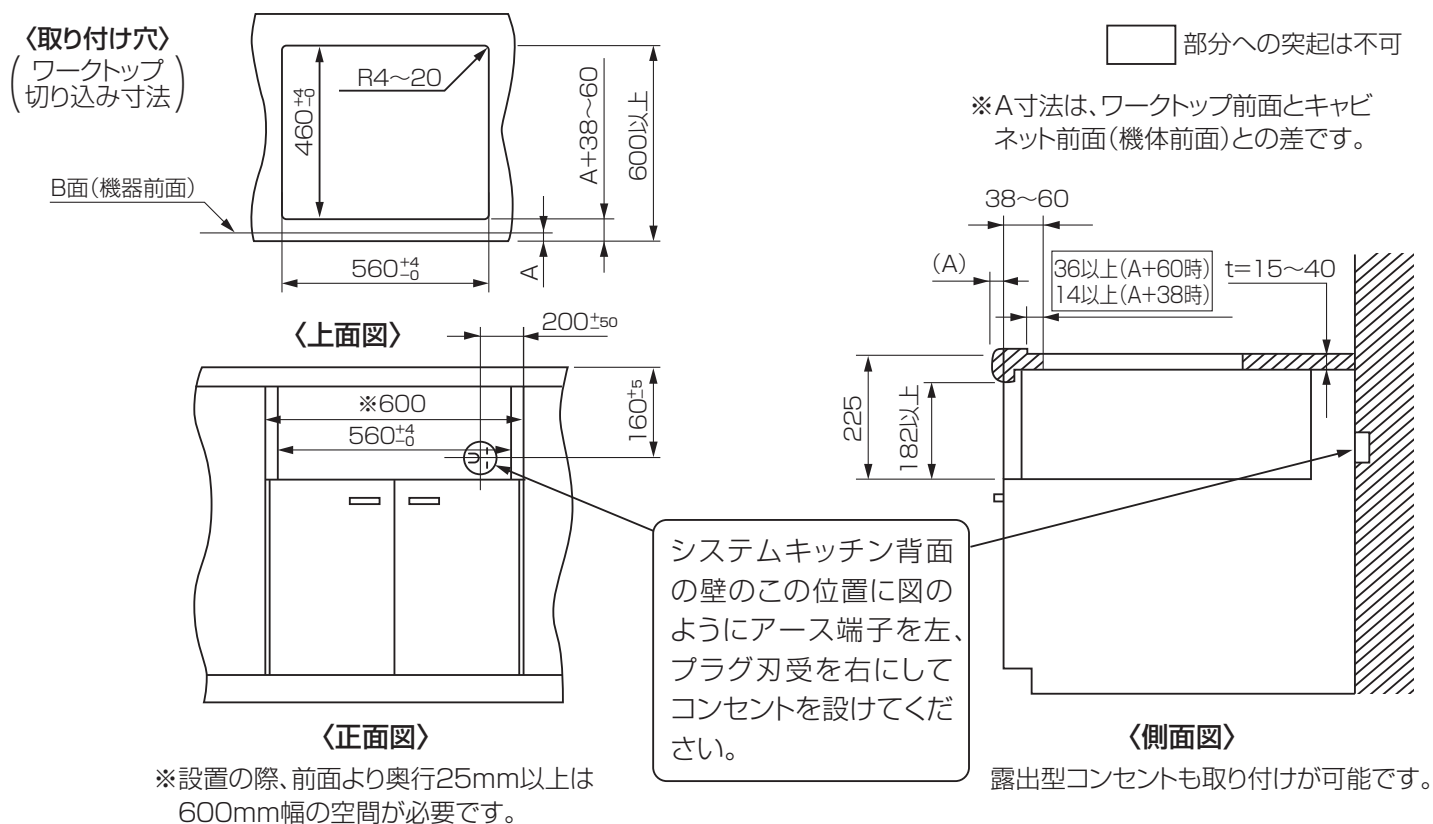
(注)人造大理石の種類によっては、断熱テープ等の対策が必要となる場合があります。

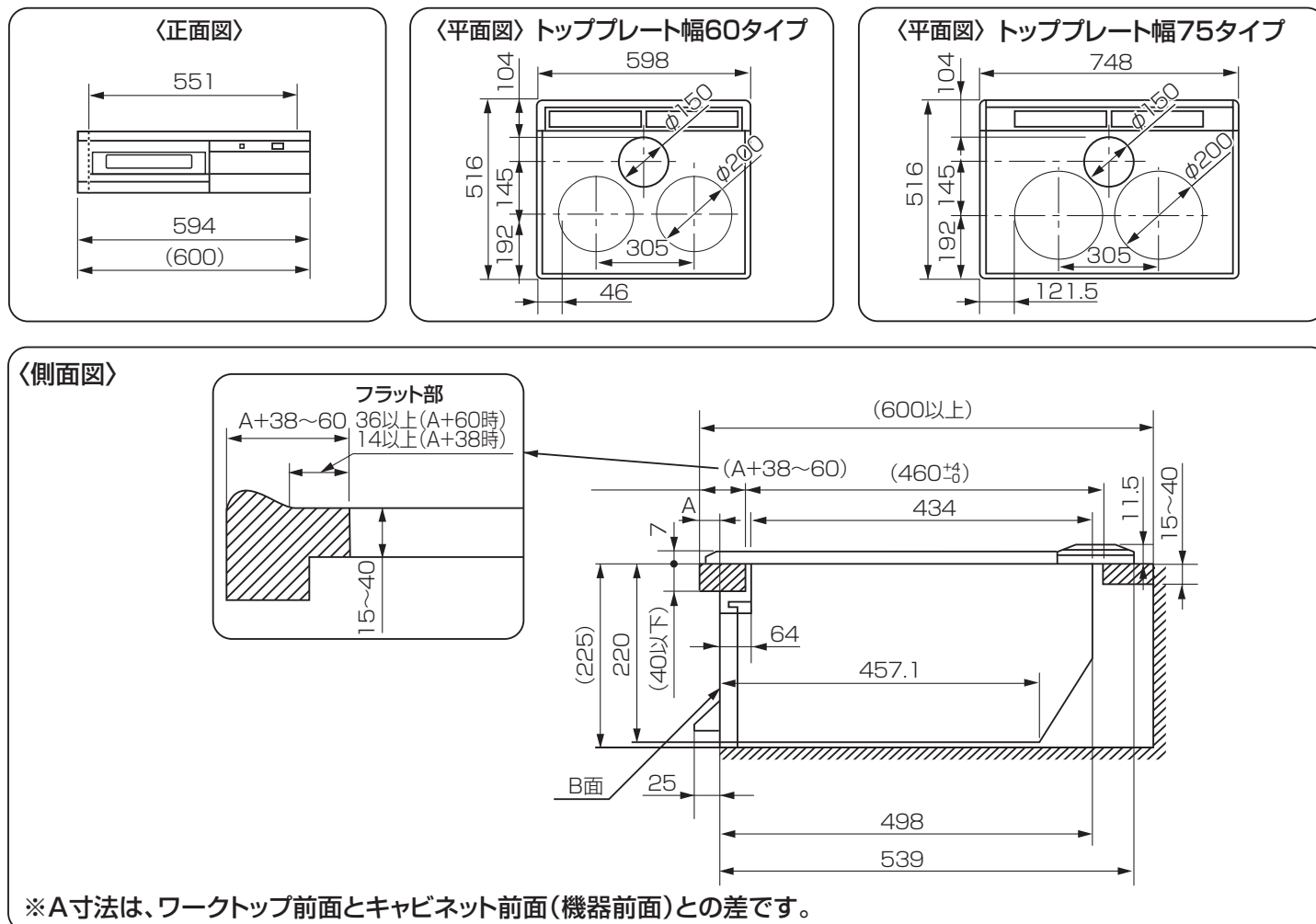
開口部の加工

4-R20
R3
R3

- 穴あけはルーターを使用してください。
- 4コーナーのRは極力大きくしてください。
- 切断面の上下エッジは、3Rのアールをつけてください。または♯240のサンドペーパーでエッジを丸く落としてください。

3 システムキッチンとの関係寸法図 単位:mm

※設置の際、前面より奥行25mm以上は600mm幅の空間が必要です。

4 製品外形寸法図 （ ）内はシステムキッチン寸法 単位:mm

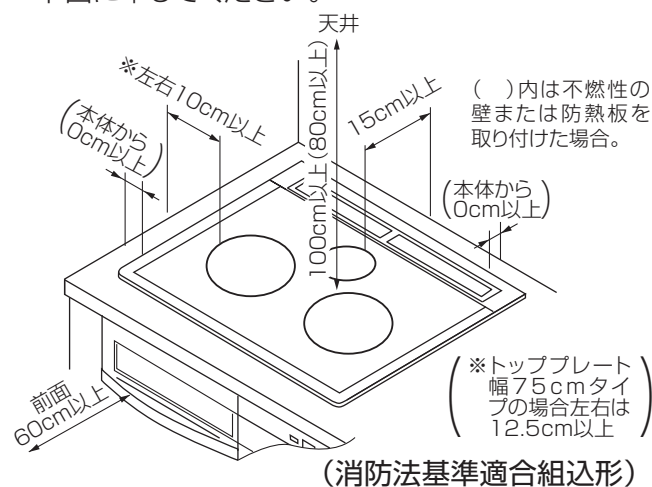
※A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面（機器前面）との差です。

5 設置場所の確認

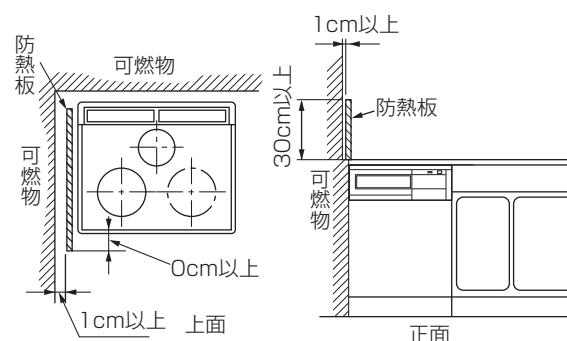
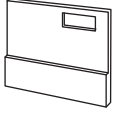
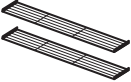
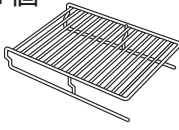
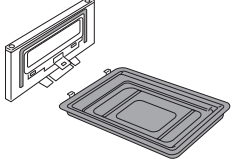
火災予防条例、電気設備技術基準省令第59条に従って設置してください。

■設置を始める前に確認してください。

- ●器具の大きさに合った**丈夫**で**水平**な台の上に設置してください。
- ●器具は火災予防上、可燃物（土壁・棚）との間を側面10cm以上、背面15cm以上、上面100cm以上離してください。
  また、器具の前面は60cm以上離してください。不燃壁の場合はその限りではありません。

● 周囲に**可燃性の壁・たな等**がある場合や、**可燃性の壁にステンレス板**を貼り付けてご使用の場合は、下図に準じてください。

（消防法基準適合組込形）

●設置をするときは、所轄の消防署に確認してください。

● 可燃性の壁より、左記の距離を離して据付できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。

- ●製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備の技術基準の解釈について第5章電気使用場所の施設第1節屋内の施設第167条で危害なきよう設置することが定められています。）
- ●**グリル排気口**をステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などで**ふさがない**でください。
- ●本体をタイルやモルタルで、**塗り込まない**ようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。
- ●幕板上部とワークトップとのすき間は、ふさがないでください。
  排気部分となっていますので製品の故障の原因となります。
- ●**湿気のすくないところ**に設置してください。
- ●**十分換気**のできるところに、設置してください。
- ●器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など**燃えやすいものは、置かない**ようにしてください。
- ●ワークトップは、熱硬化性樹脂高圧化粧板（JIS K 6903）または、これと同等以上の材料を**お使い**ください。
- ●ワークトップの表面が、ニス引きのものは、変色しますので、**お使いにならない**でください。

〈ご注意〉この機器を設置される台所が、建築基準法に定める［内装制限受ける調理室］に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。

- ●設置場所と周囲の可燃物、防火措置は、必ず火災予防条例に準じて施工してください。

6 設置する

設置前の準備

■包装材料を取り外し、付属品を確認する

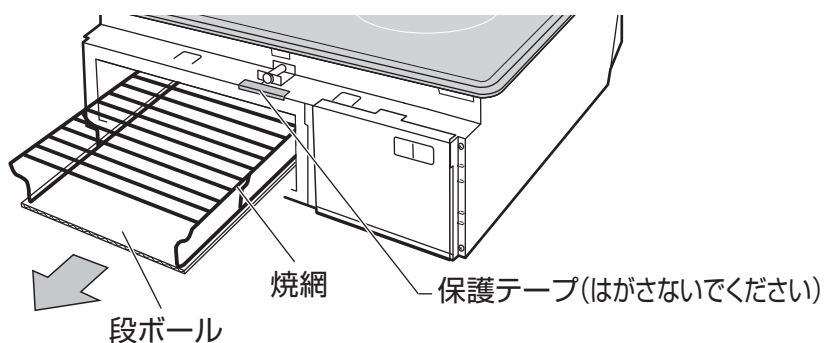
サイド飾り	パネル飾り	排気カバー	幕板	焼網	天ぷら専用鍋	グリル扉･受け皿
左側		2個	1個	1個	1個	

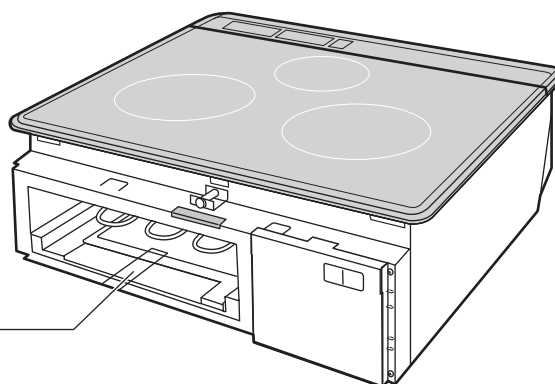
- ●取扱説明書、保証書、ご使用ガイドがあることを確認してください。
- ●焼網の包装材を取り除いてください。

■焼網を取りはずし

グリル内の包装材を取り除き、焼網を取り出す。

- ●設置前には、グリル扉･受け皿を取り付けないでください。

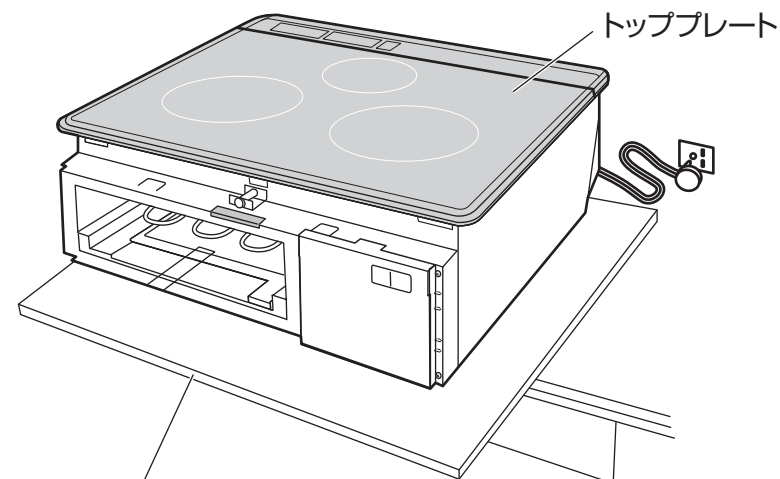
（取り付けると、設置時にグリル扉が出たり、前固定金具の固定時にグリル扉の表面を傷付けることがあります。）

- ●レール固定用テープは、はがさないでください。

（設置時にレールが出てくる場合があり、ワークトップに当たり傷が付いたり故障の原因となります。）

本体の設置

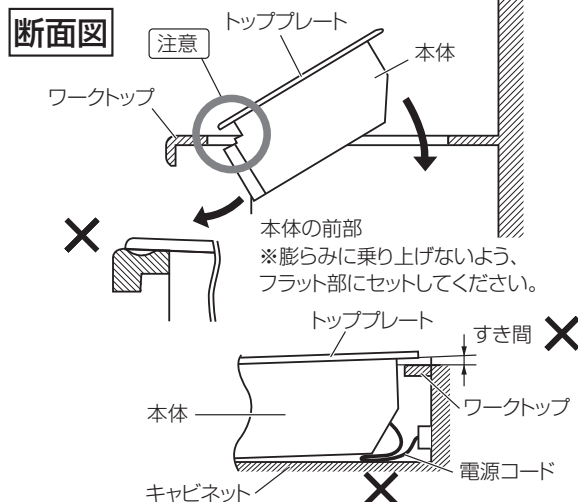
1 電源プラグを差し込む

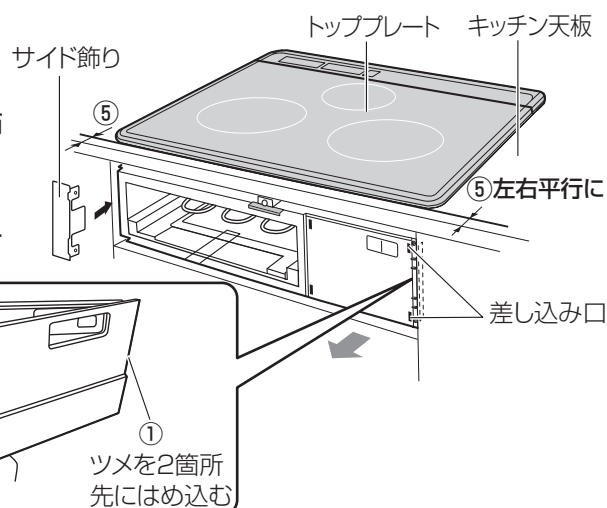
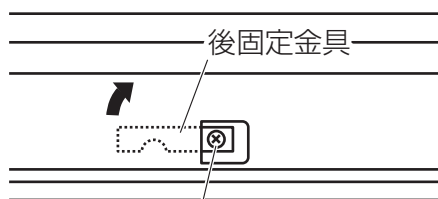
- ●ワークトップに傷をつけないように包装用のダンボール板を敷いてください。

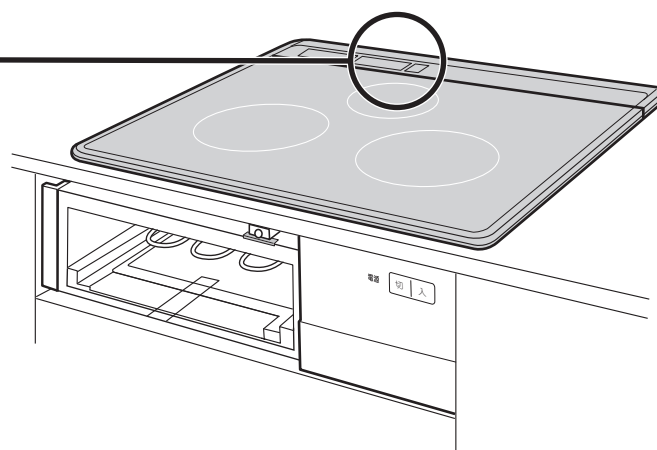
お願い

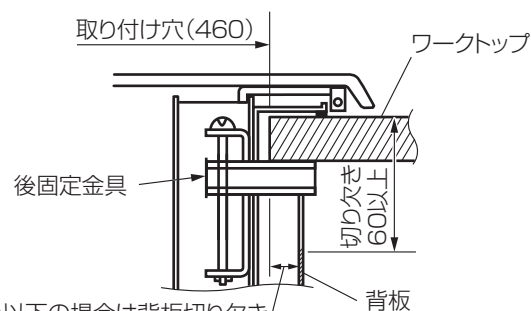
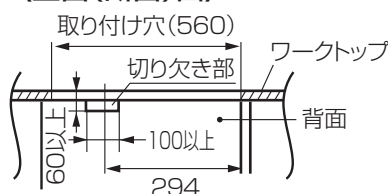
- ●トッププレートの端部に衝撃を加えないでください。
- ●トッププレートの角を持たないでください。

2 ワークトップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

- はめ込み時は、前面のスイッチや前板をワークトップに当てないでください。
（スイッチの破損や前板に傷が付く原因になります。）
- トッププレート下面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。

（本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間がバラつきます。）

3 サイド飾り、パネル飾りを取り付け本体の位置を調整する

①前板の左側面の差し込み部に、ツメ部を入れてサイド飾りを取り付ける。
②右図のようにパネル飾りを取り付ける。
③サイド飾り、パネル飾りとキャビネットの左右側面とのすき間が均一になるように、本体の位置を調整する。
④キャビネットの扉面に本体の前面が合うように、本体の位置を調整する。
⑤トッププレート部分が、キッチンの天板に対して平行になるように、設置する。

4 後固定金具を固定する

ねじを右に回してワークトップに確実に固定する

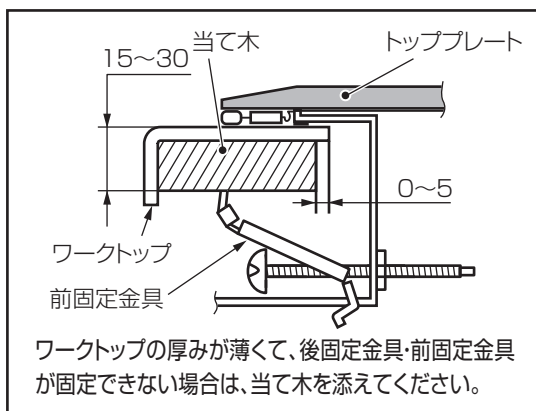
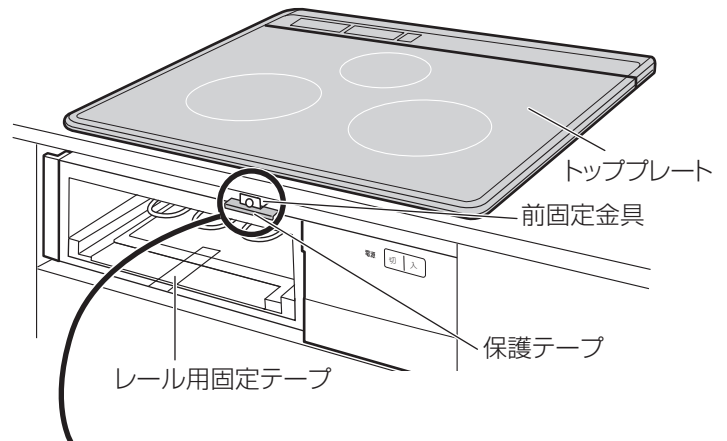
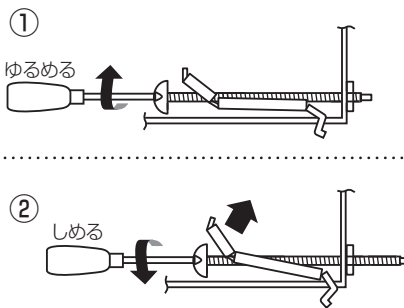
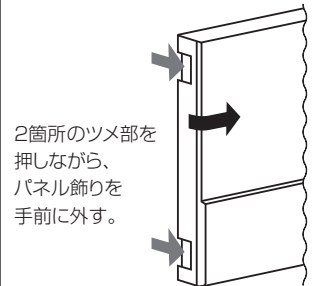
（後固定金具が上に移動してワークトップに押え付けられシール性が確保されます）

キャビネットの後方に背板がある場合

- 背板位置がキャビネットの取り付け穴から40mm以下の場合は、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設けてください。

5 前固定金具(1か所)を固定する

①ねじをゆるめて、前固定金具をゆるめる
②前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する。

● 固定時は、ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにしてください。
※先の長い(約70mm以上)ドライバーをお使いください。
● 固定後は、トッププレートを押して動かないことを確認してください。

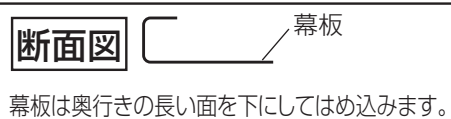
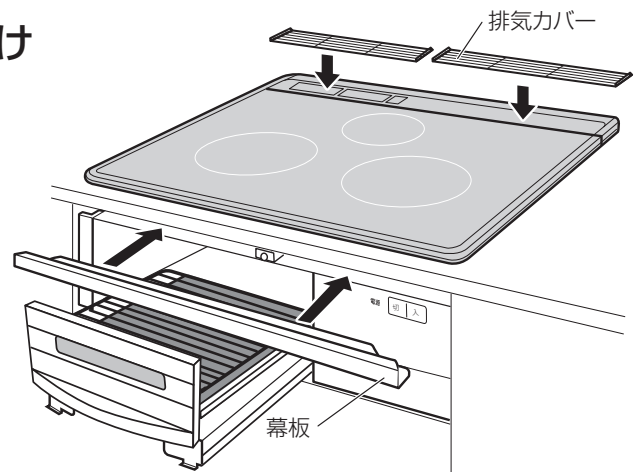
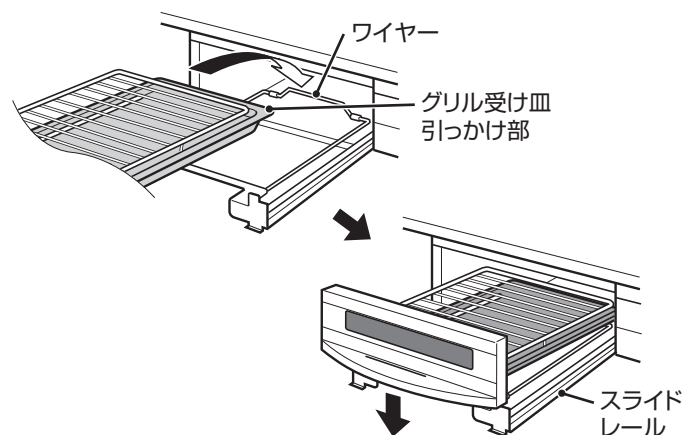
レール固定用テープ、保護テープは前固定金具の固定が終わってから、はがしてください。

ワークトップの厚みが薄くて、後固定金具・前固定金具が固定できない場合は、当て木を添えてください。

固定方法

パネル飾りの外し方

7 設置完了後

排気カバー・グリル扉・受け皿、焼網の取り付け

①排気カバーを取り付ける。
②幕板を取り付ける。
(幕板上部とワークトップとのすき間はふさがないでください。)

断面図

幕板は奥行きの長い面を下にしてはめ込みます。

③グリル扉・受け皿、焼網を取り付ける。
● 受け皿に扉を取り付け、レールの奥に引っかけ、斜め上からはめ込んでください。
※天ぷら専用鍋、取扱説明書、ご使用ガイド、保証書は必ずお客様にお渡しください。

グリル扉の取り付けかた

下部フィラー(別売品)を必要とする場合…設置高さ270mm対応用

	高さ調節用フィラー(シルバー)
品　番	BHP-609HFS
希望小売価格	6,000円

※取り付けかたは、各々の説明書をご覧ください。

8 設置完了後の確認

■設置終了後、次の手順で確認し、チェック欄に○印をしてください。完了後トッププレートに保護ダンボールを置いてください。

	確　認　項　目	チェック
付属品などの取付、包装材の取り外し	付属品の取り付け確認（排気カバー、サイド飾り、パネル飾り、幕板）	
	グリル受け皿、焼網、グリル扉の取り付け。	
	取扱説明書、設置説明書、ご使用ガイド、天ぷら専用鍋を包装箱から取り出し、お客様にお渡しする。	
動　作	グリル扉が、スムーズに奥まで完全に閉まることを確認する。	
外　観	●トッププレートは浮いていないか。　●トッププレートは汚れていないか。　●外観にキズは付いていないか。	
電気工事	設置	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグの接続	
電気試験	①ブレーカーを“入”にする。 ②電源電圧が200Vであることを確認する。 ③電源スイッチを“入”にする。→電源ランプが点灯する。	
	④各ヒーターの動作をチェックをする。 ●左ヒーターのチェック ●トッププレート手前の左IHの「切／スタート」を押す。 →トッププレート手前左側の火力表示ランプ6個が点滅する。 ●確認後は「切／スタート」キーを2回押して「切」の状態にしてください。 ●なべをのせて通電確認した場合は、左IHの「切／スタート」キーを押して「切」の状態にしてください。 ※IHヒーターですので、トッププレートの加熱部に鉄系のなべが置かれている場合のみ加熱します。 上記の火力表示の点滅はなべが無く、通電されていない状態を示しており、正常です。鉄系のなべがお手元にある場合は、水を入れて、トッププレート手前の火力調節キーを押す→押したところの火力表示ランプが点灯し、通電を開始し（火力表示が点滅から点灯に変わります）水が加熱されるのを確認してください。 （●付属の天ぷら専用鍋は使わないでください。水を入れると錆びます。 ●使用した場合は乾いた布で水気を十分に拭き取ってください。）	
	●右ヒーターのチェック 上記左ヒーターと同様に右IHの「切／スタート」キーで操作して確認してください。	
	●中央ヒーターのチェック を押して中央ヒーターを選択し「切／スタート」キーを押す。 ●火力表示ランプ「5個」まで点灯し約30秒後にトッププレートの中央ヒーターが薄く赤くなる。熱くなるので注意してください。確認後は「切／スタート」キーを押して「切」の状態にしてください。	
	●グリルのチェック ● キーを押し「切／スタート」キーを押す。火力表示が5個点灯する。約1分でグリルの中が熱くなる。 確認後は「切」の状態にしてください。	

■レンジフード連動型のレンジフードの確認項目:レンジフード単体にて正常動作確認後、下記試験を実施してください。

	確　認　項　目	チェック
電気試験	①電源スイッチを「入」にする。 ②右IHの「切／スタート」キーを1秒以上押し、火力調節キーを押して、レンジフードが自動的に「中」で運転することを確認する。 ③ キーを押す毎に「中」「強」「弱」と、風量が切り換わることを確認する。 ④ キーを一度押す毎に、点灯、消灯が切り換わることを確認する。 ⑤他の「中央ヒーター、グリル、左ヒーター」についても、①～④の操作を行いレンジフードが正常動作することを確認する。 ⑥右IHの「切／スタート」キーを1秒以上押し、火力調節キーを押して、レンジフードを自動的に「中」で運転させた後、電源スイッチを「切」にし、レンジフードが約3分後に停止することを確認する。	

■総消費電力の切り換えについて（5800W⇔4800W）

この製品は総消費電力を5800W（工場出荷時）から4800Wに切り換えることができます。
電気容量などにより、最大消費電力を少なくして、ご使用できます。

●切り換え方法

①電源スイッチを「入」にして ロック キーを2回押す。
②右IHの「◷」キーと右IHの「く」を同時に1回押す。
ピーと鳴り [P] [58] と表示されます。
③右IH「＞」キーを押して5800Wから4800Wに切り換えます、表示は [P] [48] となります。
④電源スイッチを「切」にします。再度①②の操作により設定内容を確認し電源スイッチを「切」にします。
※①と②の操作は2秒以内に行ってください。
※詳細については販売店、施工店にご相談ください。

東芝ホームアプライアンス株式会社 リビング機器事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

E0768-2

東芝IHｸｯｷﾝｸﾞﾋｰﾀｰ(ﾋﾞﾙﾄｲﾝﾀｲﾌﾟ)BHP－M631BR 1/2

平 面 図

正 面 図

※A寸法は、ワークトップ前面と
キャビネット前面 (機器前面)
との差です。

側 面 図

【仕 様】

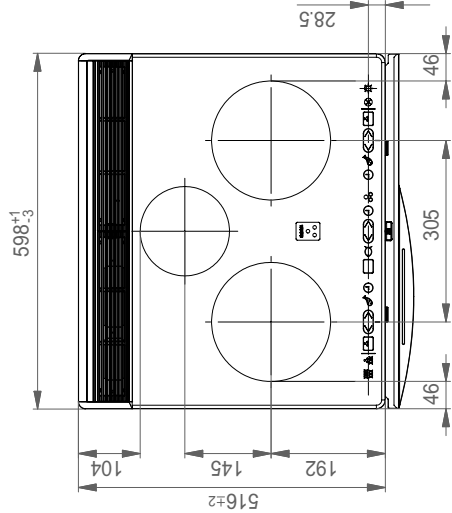
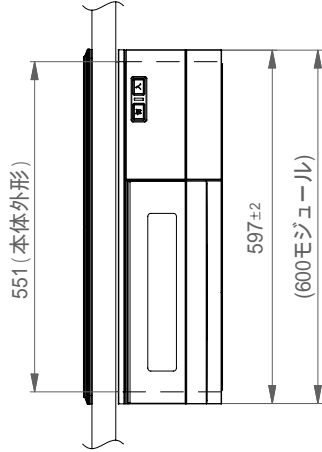
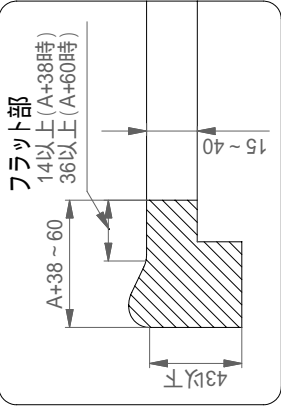
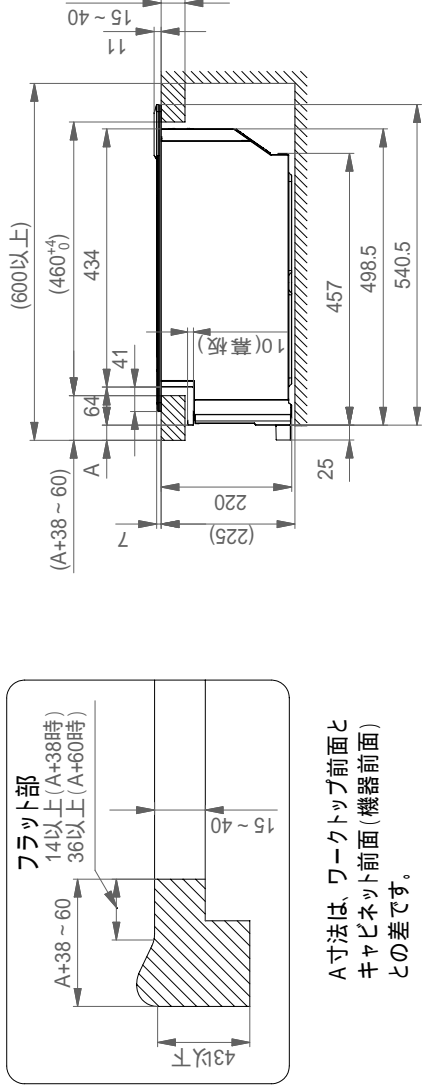
電源		単相200V 50-60Hz
定格消費電力		5800W ※1
寸法	トップヒーター部	幅598×奥行516mm
	グリル内寸	(約) 幅288×奥行360×高さ130mm
	本体埋め込み部	幅555×奥行434mm
製品質量		(約) 23kg
ヒーター形式消費電力	左ヒーター	IH 3000W
	右ヒーター	IH 3000W
	中央ヒーター	クイックラジエント 1250W
	グリル	シーズヒーター(上)(下)1900W ※2 触媒ヒーター(250W)
グリル仕様		魚焼自動(丸身・切身・つけ焼き)水無し水あり自動検知 グリル手動(火力調節機能付)水あり 脱臭・脱煙機媒 ※3
ヒーター同時通電		中央ヒータとグリルの同時通電不可
火力調節	左ヒーター	10段階
	右ヒーター	10段階
	中央ヒーター	5段階
	グリル	5段階
電源コード		長さ:(約)600mm 3.5平方mm 3芯キャプタイヤケーブル
差し込みプラグ		2極・250V・30A (1極接地)
付属品		天ぷら鍋 (鉄) 焼き網 (フッソコート)
梱包	寸法	(約) 幅659mm×奥行662mm×高さ333mm
	質量	(約) 28kg

※1:複数のヒーターを同時に使用した場合、その火力の合計が5,800Wを超えるときには、いずれかの
IHヒーターの火力を自動的に落とし調整します。
※2:ファン入力50Wを含まないグリルヒーターのみの消費電力。
※3:魚焼き自動「つけ焼き」使用時のみ動作しません。

■各ヒーターの火力調節詳細 単位 (W)

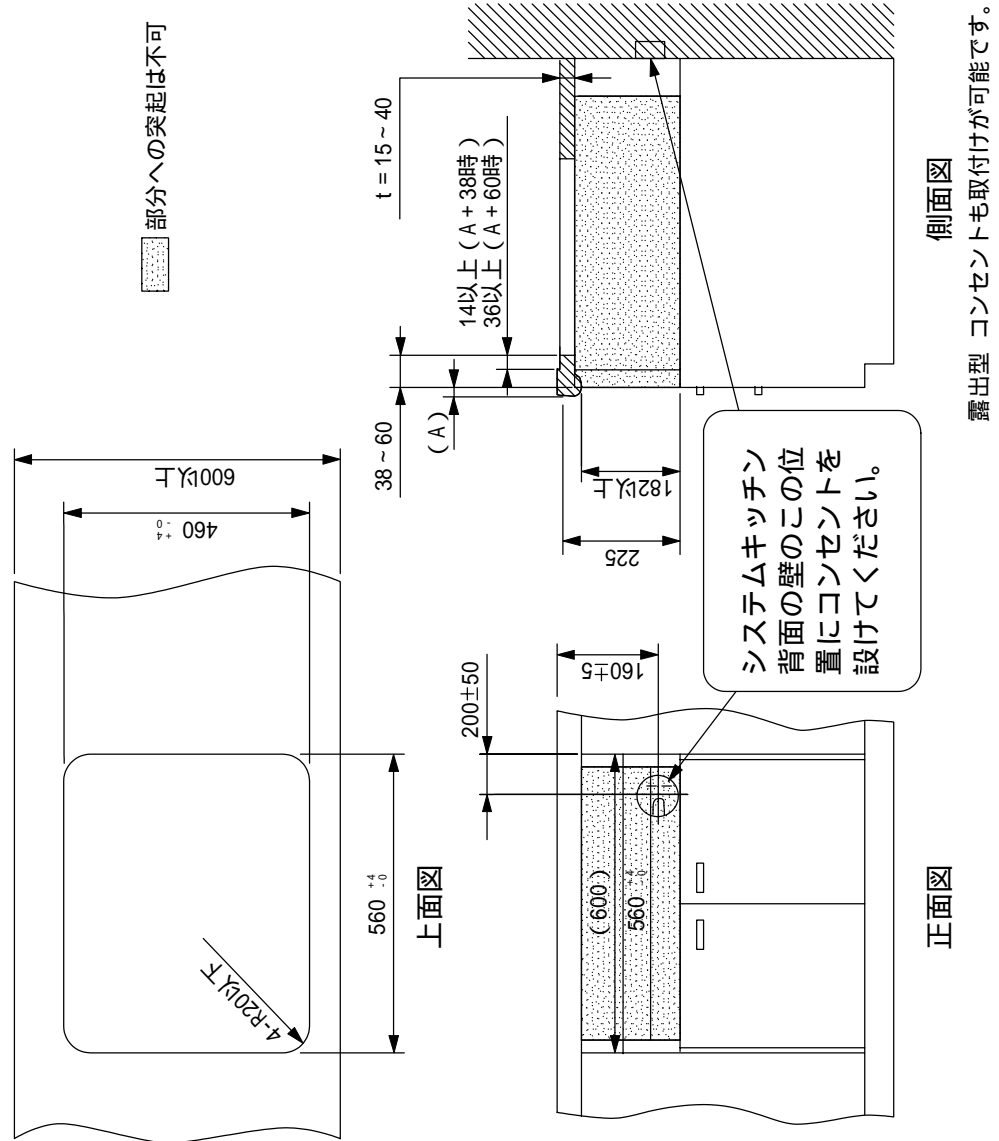
	とろ火	弱火	中火	強火
段 階	1～2	3～4	5～7	8～10
左ヒーター	120～230	350～500	700～1500	2000～3000
右ヒーター	120～230	350～500	700～1500	2000～3000

段 階	1	2	3	4	5
中央ヒーター	100	300	600	900	1250
グリル	1100	1300	1500	1600	1900

商品名	東芝IHクッキングヒーター (ビルトインタイプ)	形 名	BHP-M631BR
作成年月日	H21.11.14	仕様書番号	H10909114 (1/2)

◆本仕様は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

(単位:mm)

東芝IHクッキングヒーター(ビルトインタイプ)BHP-M631BR　2/2

【システムキッチンとの関係寸法図】

【人造大理石ワークトップへ取付けされる際のお願い】

●人造大理石ワークトップは、加工状態や高温条件によっては、クラック（ひび）の入ることがあります。
　下記の要領で加工し、施工してください。

開口部の加工

●穴あけはルーターを使用してください。
●４コーナーのRは、極力大きくしてください。
●切断面の上下エッジは、３Rのアールをつけてください。
　少なくとも、#240程度のサンドペーパーでエッジを丸く落としてください。

◆人造大理石の種類によっては、断熱テープ等の対策が必要となる場合があります。

（単位：㎜）

【電気工事および接地工事】

■電源工事や、接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規程」に準じてください。

■電源は、30A専用回路（ブレーカー付）を設けてください。
　万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をお願いいたします。
　●推奨漏電しゃ断器：品番（東芝ライテック）LB332JLA30A30MA
　　……定格電流30A、感度電流30mA

■電源コンセント：埋込コンセント
　　……単相3線式定格250V30A（I極接地用）
　●電源コンセント取付位置は、左図「システムキッチンとの関係寸法図」を参照してください。

■アース工事を必ず行ってください。
　（D種設置工事）
　●上記コンセントのI極接地用に配線してください。
　〈ご注意〉アース線は、ガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。

コンセント差し込み形状
推奨コンセント 東芝ライテック：DC2582E

◆電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方に行っていただきますようお願いいたします。

◆工事要領・組込み要領等は別途設置工事説明書をご参照ください。

商品名	東芝IHクッキングヒーター（ビルトインタイプ）	形　名	BHP-M631BR
作成年月日	H21.11.14	仕様書番号	H10909114（2/2）